



## POEMS 症候群

MEMO 

小児の場合は顔面に，成人では体幹や四肢に好発する．急速に出現し，びらんを形成して出血するので，無色素性悪性黒色腫などの悪性腫瘍との鑑別を要する．

## 病理所見

二次的炎症性肉芽腫を伴う血管腫，あるいは血管腫構造を伴わない肉芽腫などの像を呈する．

## 治療

凍結療法，硝酸銀塗布，炭酸ガスレーザー療法や外科的切除を行う．ステロイド外用が有効なこともある．

## 4. 糸球体様血管腫 glomeruloid hemangioma

POEMS 症候群（MEMO 参照）患者の約半数にみられる 1 cm 以下の血管腫（図 21.42）．血管増生が生じ，血管増殖因子や血中エストロゲンの上昇などがみられる．臨床的には老人性血管腫に類似するが，10～20 歳代の患者に急に多発し，頭頸部など体幹や四肢以外にも発生する．老人性血管腫に比して淡い紅色調で，指圧では圧排できないドーム状の結節を呈する．

5. Kasabach-Merritt 症候群  
Kasabach-Merritt syndrome

カサバツハ メリット



## 症状

巨大血管腫・血小板減少・全身性紫斑がみられる症候群．皮下の硬結として生下時または生後 3 か月までに初発することが多い（図 21.43）．急速に増大，出血して血管腫全体が暗赤，紫色の巨大な腫瘤になる．多量の血小板が消耗される結果，浮腫，小出血，全身の紫斑，出血傾向をきたす．血液凝固因子異常や血小板減少が持続すると DIC を生じる．

図 21.41② 化膿性肉芽腫（pyogenic granuloma）

図 21.42 糸球体様血管腫（glomeruloid hemangioma）

図 21.43 Kasabach-Merritt 症候群（Kasabach-Merritt syndrome）  
左下肢の巨大な血管腫．